

## ACE 活性阻害試験

アンジオテンシン変換酵素(ACE)はアンジオテンシン I をアンジオテンシン II へ変換させる酵素として知られております(図-1)。この ACE に対する阻害作用を試験管内でウサギ肺由来の ACE を用いて評価致します。

### 試験方法

試料の抽出には 50 %エタノールを用います。酵素反応により生じたジペプチドをオルトフタルアルデヒドと反応させ、蛍光強度を測定致します。ACE 活性阻害率は試験溶液を加えない未処置対照の ACE 活性を 100 %とした場合の相対値として算出致します。通常は 5 mg/ml の濃度の抽出液の相対 ACE 活性を結果として提出致します。また、 $IC_{50}$  値の算出も可能です。

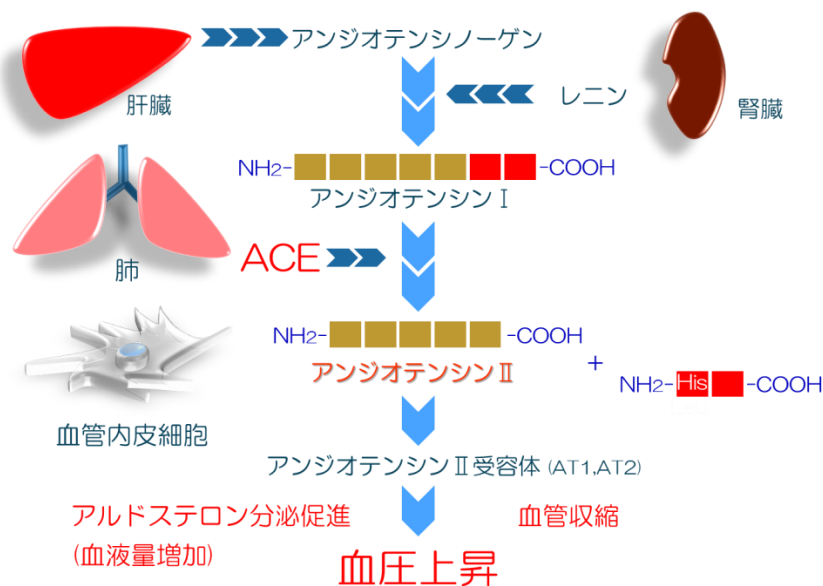


図-1 血圧とアンジオテンシン

### 検体必要量

必要量：約 20 g (20 g 未満の場合はお問い合わせください。)

試験設計など、詳細につきましてもお気軽にご相談ください。